

◎山田憲昭市長

市民協働で創るまちづくりについてお答えをいたします。

初めに、28 公民館地区全てで地域コミュニティ組織の設立を推進することについてであります。

本市では「健康で笑顔あふれる元気都市 白山」を目指して、第2次白山市総合計画に基づき、人口減少や少子高齢化の抑制、地域福祉の充実に向け、公平・公正な施策に取り組んでおります。

しかしながら、社会情勢が大きく変化する中、28 地区それぞれにおいて、その地域に応じたまちづくりに取り組むことが肝要と考えております。まずは、地域の現状や地域のあるべき姿について話し合っていたいただきたいというふうに思います。

例えば、本市では安全・安心なまちづくりを目指しており、地域コミュニティ組織を中心に、防災訓練や防災講座などの取組を通じて防災意識の高揚や地域防災力の向上を図ることで、防災をテーマとしたまちづくりに取り組むなど地域でできることから始めていただきたいというふうに考えております。

既にもうまく機能している地区におきましては、地域のつながりをさらに強固なものとし、基盤づくりを促進していただきたいというふうに考えております。

次に、実施時期についてであります。

令和4年度に地域コミュニティ組織の設立に向けた協議を開始していただき、令和5年度中に28 地区全ての設立を目指してまいります。また、公民館のコミュニティセンターへの移行と一括交付金につきましては、令和6年4月からの開始に向けて準備を進めてまいります。

なお、コミュニティセンターへの移行につきましては、これまで培われてきた公民館の伝統や地域の学習拠点としての役割を受け継ぐとともに、それらを土台とし、さらに地域コミュニティの維持と防災拠点としての役割を担うことで、持続可能な地域づくりの拠点になるよう機能を充実してまいります。

次に、市民の関心を高めていく方策についてであります。

一人でも多くの方に関心を持っていただくためには、住民参加型のワークショップの開催や住民アンケート調査が有効であるというふうに考えております。

また、学生がフィールドワークやワークショップ、アンケートの分析、意見交換に関わることで地域の魅力の発見や地域の課題の抽出も可能であることから、大学などと連携をしながら実施してまいりたいというふうに思っております。

以上です。